

学校名	西一之江小学校	対象学年と人数	理科委員会 17名 4年 128名
活動名	西一環境教育		
指導者	学内指導者： 橘川朋成 福田昌子		

## 目標

以下の活動を通して、人が生きていくために、環境保全が必要であることを知り、自然を大切にする姿勢を育てる。

- ① ゴーヤを栽培し、グリーンカーテンを作る。
- ② 野菜を育てる。
- ③ 打ち水を行う。

## 成果

- ① 6月 ゴーヤの苗植え  
8月 日照不足のため不調  
9月 日照が回復し葉が茂る。グリーンカーテンとしての機能を果たす。  
11月 ゴーヤ撤去  
子供達は日照不足にもかかわらず成長したゴーヤの姿に自然のたくましさを感じることができた。
- ② 6月 苗植え  
8月 きゅうりの収穫  
9月 ゴーヤの収穫  
野菜を育てることで、普段店で手軽に買っていた野菜を育てることの難しさを知り、作物を大切に  
する心情を育成させた。
- ③ 8月 打ち水  
簡単な方法で体感温度を下げられることを知り、自分たちも環境問題に取り組むことができるという  
考え方が芽生えた。

## 感想・課題等

植物を用いて環境教育を行ったが、天候に左右され当初イメージしたような成果につながらなかった。  
悪天候ながらも学ぶべきこともあったが、やはり児童には大きなゴーヤを見せてあげたかった。

野菜の方は小ぶりながらも一応収穫できた。まがったきゅうりやひび割れたなすを見て、売り物の野菜との違いに興味をもつ児童の素直な感性が素晴らしかった。

打ち水は昔ながらの方法でありながら、思った以上の効果があり、児童の反応が大きかったことが印象深かった。日本は昔から自然とともに歩んできたエコな国であることを実感することができた。他にも昔の知恵に学ぶべきことがあると思う。

このような活動を学校全体に広げるのが今後の課題である。打ち水のような簡単なことからでも始められるので、徐々に広げていきたい。